



# 社協だより

## ONAGAWA

# 5

MAY. 2013

P2.平成25年度事業計画・予算

P3.生活支援相談員・新人職員紹介

この広報誌の発行には、皆さまから頂戴した会費を使わせていただいています。

## 《基本理念》

女川町社会福祉協議会は、地域福祉を推進する中核的機関として、福祉関係団体・ボランティア等関係者との連携・協働のもと高い公共性と民間法人としての自主性・創造性を発揮し、誰もが「安心して暮らせる地域づくり」に取り組み「心豊かで住みよい福祉のまちづくり」を目指します。

## 《基本方針》

1. 法人の適正な運営に努めます。
2. 地域福祉を総合的に推進します。
3. 東日本大震災で被害を受けた住民や支部への支援に向けた取り組みを推進します。
4. 福祉サービスの提供・開発と利用者等の権利擁護活動を推進します。
5. 住民の生きがいづくりを応援します。
6. 女川町地域活動支援センターの適正な運営を図ります。
7. 女川町地域包括支援センター（受託）の相談活動を充実します。
8. 福祉仮設住宅の適正な管理・運営を図ります。

## 事業実施内容

### 住民みんなで「地域」をより良くするために

- ◎地域における『福祉の担い手』の養成
- ◎福祉活動推進モデル地区への助成
- ◎支部座談会の開催
- ◎福祉教育の推進
- ◎復興支援センター機能の充実
- ◎みなし仮設入居者への支援

### 誰もが住み慣れた地域で生活できるように

- ◎紙おむつ等助成券や訪問散髪料金助成券の交付
- ◎リフトカーの貸出と車イスの貸与
- ◎生活支援型配食サービスの実施
- ◎緊急医療情報キットの配布
- ◎障がい者や高齢者の方々の権利擁護

### みんなが「生きがい」をもって生活できるように

- ◎ふれあい交流会の開催
- ◎生きがい講座の開催
- ◎町民を対象とした各種講座の開催

## 一般会計予算のあらまし

収入合計	178,691,000円	支出合計	178,691,000円
事務局 *会費や寄附金・補助金や助成金など	70,493,000円	事務局 *法人運営やその他各種事業を実施していくための費用	70,493,000円
地域包括支援センター *町からの受託金	15,920,000円	地域包括支援センター *地域包括支援センターを運営していくための費用	15,920,000円
復興支援センター *町からの受託金	47,500,000円	復興支援センター *復興支援センターを運営していくための費用	47,500,000円
こころとからだの健康相談センター *町からの受託金	11,612,000円	こころとからだの健康相談センター *こころとからだの健康相談センターを運営していくための費用	11,612,000円
地域活動支援センター *町からの自立支援費等収入など	12,392,000円	地域活動支援センター *地域活動支援センターを運営していくための費用	12,392,000円
福祉仮設住宅 *町からの受託金	20,774,000円	福祉仮設住宅 福祉仮設住宅を運営していくための費用	20,774,000円

収入合計 178,691,000円 - 支出合計 178,691,000円 = 0円

地域をより良くするために

「社協会費へのご協力をお願いします。」

社協の財源は、皆様から頂戴する会費です。社協では、頂戴した会費を使いながら様々な事業を行っております。「地域」をより良くしていくために、社協会費へのご協力をお願いします。

《会員の種類》 一般会員 年1,200円 賛助会員 年5,000円 特別会員 年10,000円

# こんにちは！生活支援相談員です

私たちは女川町が設置している「こころとからだとくらしの相談センター」で生活支援相談員（くらしの相談員）として活動しています。町内には7つのサブセンターと呼ばれるところがあり、そのサブセンターを中心として担当エリアの仮設住宅・在宅の見守り活動を行っています。「話を聞いてほしい」「どこに相談すればいいかわからない」など、困りごとがあれば気軽に声を掛けてください。※SC=サブセンター



多目的・野球場エリア担当  
(SC：多目的仮設集会所・野球場仮設集会所)  
遠藤 孝子 今野 里美 亀山 まゆみ



一小・旭が丘エリア担当  
(SC：一小仮設集会所・旭が丘行政区集会所)  
佐藤 佐知江 渥美 恵 木村 ゆり



勤労・清水エリア担当  
(SC：勤労青少年センター・清水仮設集会所)  
奥田 容子 矢竹 拓 木村 節子



石巻バイパスエリア担当  
(SC：石巻バイパス西集会所・東集会所)  
菊池 きくえ 藤井 美代子 佐藤 奈奈子

## 新人職員の紹介



事務補助員 木村 銀次郎

私は生まれ育った女川のために、地域の皆さんのサポートやサービス活動を一生懸命頑張っていきたいです。よろしくをお願いします。



主事 木村 和紀

私は、山形県出身なので、女川町の皆さんと交流を深めながら、早く馴染んでいきたいと思っています。皆さんにたくさんの笑顔をお届けしていきます。



情報発信中!!

## うみねこ園ホームページ&ブログ

4月1日、地域活動支援センターうみねこ園のホームページを開設し、同時にブログも始めました。日中の活動の様子など、社協だよりではお伝えしきれない部分もたくさんあります。そこで、町内の方はもちろん、町外の方にもうみねこ園のことを知っていただけたらという想いで、今回の開設に至りました。

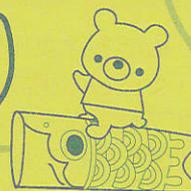
ホームページには、うみねこ園の概要や沿革・現在の活動内容や似顔絵付きのメンバー紹介などを掲載しています。

ブログでは、普段の活動の様子や職員だからこそわかる利用者さんの一面をお伝えしていきます。

ぜひ、ご覧になってください。

きっと、利用者さんの魅力に引き込まれるはずですよ。

# うみねこ園 だより



### アクセス方法

<http://shakyo-onagawa.or.jp/uminekoen/>とURLを直接入力していただくか、「女川町社会福祉協議会」及び「女川町復興支援センター」のホームページ内リンクにある「地域活動支援センターうみねこ園」をクリック。

### お花見にいこう!!

4月16日、涌谷町の城山公園まで足を運びお花見を満喫してきました。

この日は天候にも恵まれ、ぽかぽかと暖かい陽気のお花見日和。淡いピンク色のきれいな桜を見ることができました。

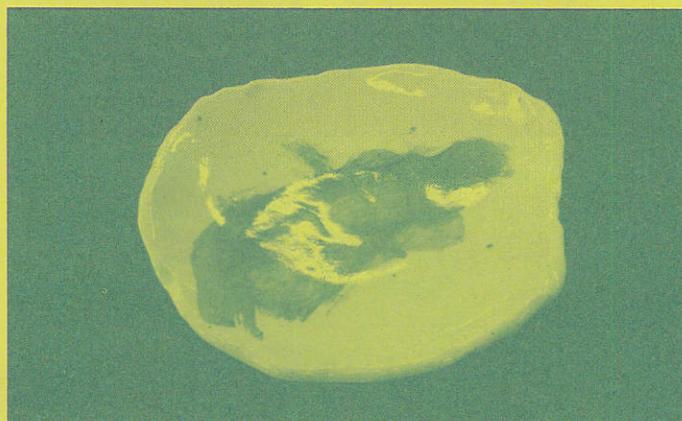
そうはいっても、やはり「花より団子」といったところでしょうか。それまできれいな桜に心を奪われていた利用者さん達も、おいしそうな昼食を目の前にした途端、食べることに夢中に。満腹になり、帰りは車の心地よい揺れの中、気持ち良さそうに眠っていました。



### 陶芸作品 ～うみねこぎやらり～

昨年9月から始めた陶芸。今月号から順番に、その数々の作品を制作者と一緒にご紹介していきます。

#### ～今月の制作者の秀樹さん～



第1号を飾るのは、秀樹さんです。

タオルを身に着けて取り組む姿が、職人の雰囲気を感じさせている秀樹さん。

器の中心に豪快に乗せた絵の具によって、作品の深みが増している逸品です。

※ホームページ内にも、「陶芸作品」のコーナーを設ける予定です。そちらはカラーでご覧になれるので、どうぞご堪能ください。

# 復興支援センターだより 5月号

## 女川町復興支援センター

女川町社会福祉協議会内  
 〒981-4333 FAX 0235-4336  
<http://shakyo-onagawa.or.jp/fukko/>

### ボランティアインフォメーション

#### 鳴り砂清掃を行います

鳴り砂のある海岸は、かつて全国に200か所以上あったといわれていますが、開発や環境汚染などにより、主な鳴り砂は現在20か所程度であるといわれています。

そのうちの2つが女川の夏浜・小屋取浜です。

貴重な自然遺産を一緒に守りましょよ。鳴り砂を守る会では、本年度も3回程度清掃活動を予定しております。第1回目として、ゴールデンウィークに清掃を行います。

ぜひご参加・ご協力ください。

日時：5月4日(土)・5月5日(日)

午前9時～午後3時30分

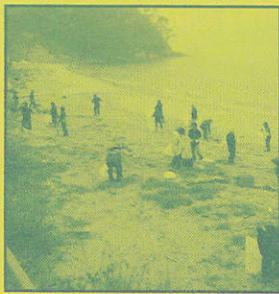
集合：旧女川幼稚園(桜ヶ丘7-7)

内容：砂浜の清掃(ゴミ拾いなど)

準備：長靴、軍手・ゴム手袋、砂浜での作業がしやすい服装でお越しください。  
 参加方法：当日集合場所へお越し下さい。



●昨年の活動の様子



#### ボラシカ

#### ボランティア登録のお願い

町民ボランティアを募集しております。運転ボランティアにもぜひご協力を！

●3月の新規登録・・・31人

#### 運転ボランティア募集中!

女川町復興支援センターでは、病院等への送迎のお手伝いや福祉車両の運転などをしていたただける運転ボランティアを募集しています。

普通免許をお持ちの方なら、どなたでもご参加頂けます。

ご協力頂ける方には、あらかじめ登録をして頂きます。その後、復興支援センターより電話等にて活動の要請をさせて頂きます。

まずはお電話・ホームページからお問い合わせください。詳しい資料を差し上げます。(担当：伊藤)

#### ボランティア保険のご案内

ボランティア保険は年度単位での加入となりますので、平成24年度にご加入頂いたボランティア保険は、3月31日をもって期限切れとなっています。

ボランティア活動中の方が一の事故等のために、ボランティア保険への加入をおすすめします。

詳しい資料をご用意しています。復興支援センターまでお問い合わせください。

### イベントインフォメーション

#### 「四国八十八カ所めぐり お砂踏み in 仙台空港」

参加してみませんか!!

四国巡礼を宮城で体験できる特別企画が開催されます。四国へ巡礼の旅に出掛けられない人のための、一日で気軽にお遍路を体験できるイベントです。得られる御利益は実際のお遍路と全く変わらないということです。この機会にどうぞ、参加してみませんか。

日程：H25年5月17日(金)  
 出発時間：午前8時  
 開催場所：仙台空港ターミナルビル3階  
 参加費：一人1,000円(入場料)(交通費・昼食代無料)  
 募集定員：40名(先着順)  
 申込期日：5月8日(火)  
 問合先：復興支援センター 担当 武石  
 電話：0225-53-4333  
 FAX：0225-53-4336

#### 参加申込書

氏名	行政区・仮設名	電話番号

#### 安全運転講習会実施しました

社協では日ごころ町内を回る際に自動車を運転する機会が多いのですが、安全運転の基本に立ち返り、町民の手本となるべく、安全運転講習会を実施しました。

JAF宮城支部より講師の先生をお招きし、グループワーク形式のディスカッションで、交差点での危険箇所や注意すべき点などを話し合いました。

また、実車を使っての点検講習では、ボンネットの開け方から始まり、ウォッシュ液やエンジンオイルの点検の仕方、タイヤの溝の回り方など、簡単にでき、安全に直結する個所の点検方法を学びました。

今年度はボランティアの方をはじめ、住民の方向けの講習会も予定しております。詳細が決まりましたら、この復興支援センターだよりにてお知らせいたします。



#### タテのカギ

- 桜の植樹などをしている女川の団体を立派な人 3 春○秋冬
- 山のような曲線を描く事
- 苦しみ悩む事
- 魚介を使った江戸のファストフード

#### ヨコのカギ

- カエサルの名言 ○○は投げられた
- 物置小屋
- 吉凶を占ったりする。宝やあみだ
- 刺身のお供 7 順位づけること
- 鷹の仲間。鳶より一回り小さい
- 魚を捕ったりするのが仕事

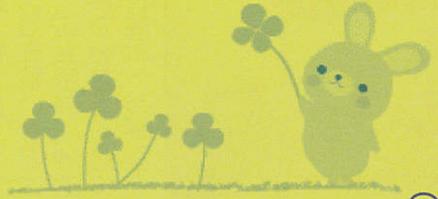
1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12

#### ★ヒント

答えは本文中にあります

# 地域活動にご活用下さい 『地域復興助成金』

- 目的 女川町民の福祉活動や住民の支え合い活動、ボランティア活動等に要する資金の助成
- 対象 ○社協の支部・仮設住宅自治会  
○住民の福祉の充実及び青少年の健全育成のための活動をしている団体・グループ等
- 助成金 ○助成は、1団体につき、一事業5万円を上限とする。ただし、総事業費の1割以上は自己負担とする。  
○同じ団体への助成は年間2回までとする。  
○助成金は千円単位とし、千円未満は切り捨てる。
- 申請等 ○社協備え付けの申請用紙に必要事項をご記入ください。  
また、事業完了後には速やかに活動報告を提出願います。
- 問合せ 女川町社会福祉協議会 Tel. 0225-53-4333



## 《 募 集 》

### 伝えたい！おばあちゃん世代の育児体験記

あなたの育児体験を語ってみませんか？

現代の社会では、核家族化が進み、親となる世代が子育てを身近に見聞きする体験がないまま親となり、不安や戸惑いの日々なかで、次第に孤立感を募らせている例は少なくないようです。

そこで、「おばあちゃん」と言われる世代の、当時の育児体験を語ってみませんか。夜泣きや初めてのあんよ、失敗談など何でもけっこうです。

時代や環境を超えて、若いお母さんやいつかお母さんになる子どもたちにきっと届くはずですよ。

- 《応募方法》 ○エピソードは、テーマを1つにしぼって執筆  
○字数800字（400字詰め原稿用紙2枚以内）  
※制限字数を超えた原稿は対象外となります。  
○応募原稿のはじめに、次の必要事項を明記してください。

- ① 氏名（ふりがな） ② 生年月日  
③ 住所（郵便番号） ④ 電話番号・FAX番号  
⑤ エピソードテーマ ⑥ いつの頃の話（例：昭和）

○原稿は郵送またはメールで下記の全国老人クラブ連合会にご応募ください。

※メールの場合は、ワードかテキスト形式をご利用ください。

※封筒の表、メールのタイトルに「育児体験記」と明記してください。



《応募受付期間》 平成25年4月1日（月）～6月30日（日） 当日消印有効

財団法人 全国老人クラブ連合会 〒100-8917 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル5階  
電話：03-3581-5658 FAX：03-3597-9447  
メールアドレス：zenrou@sepia.ocn.ne.jp ホームページ：http://www.zenrouren.com/

## 皆さまの善意に感謝申し上げます

（平成25年3月25日～4月10日受付順）

寄附	女川第一小学校児童会様	8,618円	(株)エヌ・ティ・ティエムイー様	69,509円
	女川町グラウンドゴルフ協会様	5,500円	(株)NTT東日本 宮城様	251,655円
	NTT東日本宮城社会貢献推進会議様	321,163円	まつやま万燈会実行委員会様	8,343円



稲田耕太の『おごてやす』

みなさま、こんにちは。職場の帰道、ふと見上げるとついこの間まで桜並木だった所が、緑の葉が生い茂ってきているのに驚きました。私としては、桜の色と葉の色が混ざり合っているのを見るのは、四季の移り変わりを感ずることができるので割と好きなのですが、みなさまはいかがですか。

先日、NHKドラマの「ラジオ」を観ました。震災後の女川町が舞台というところで、地域の方々も出演していらっしやいましたね。この3月末まで生活していたこともあり、テレビ画面を通して女川町を観ることに不思議な感覚になりました。離れていることに少し、寂しさを感じることもありますが、大阪の空を見上げて、ある人が僕に教えてくれた「空はつながっているから。」という言葉を思い出します。

それは私にとってだけでなく、皆様にとっても同じことなのでしょうね。そんなことを考えていると、大阪での仕事を行うエネルギーが湧いてきます。大阪でも同様に職場や地域の人たちに教わり、日々叱咤激励と愛をもって育てていただいていることに感謝、感謝です。

春となり桜から青葉にかわる季節となりましたが、まだまだ肌寒さを感じる時期です。お互いの「体と心」を大切にしていきたいですね。では、また次号にて。

稲田氏は、四月から『権利擁護』の仕事を担当しているそうです。